病気の子どもが
学習できる学校

森川特別支援学校は病弱教育を行う特別支援学校です。

【本校】

医療又は生活の管理を要し、自宅から本校への通学が可能な児童生徒（小学生、中学生、高等生）が在籍しています。

※スクールバスはありません。

看護師による医療的ケアへの対応、学校給食もあります。

【病院内訪問学級】

琉球大学病院をはじめ、県内の8病院に病院内訪問学級を設置しています。琉球大学病院とこども医療センターの病院内訪問学級では、小学生、中学生以外に高校生の受け入れも行っております。

本校、院内訪問学級の児童生徒、保護者を対象にスクールカウンセラーによるカウンセリングも実施しています。

沖縄県西原町字森川 151 番地
TEL　098-945-3008
FAX　098-946-5567
MAIL　school@morikawa-sh.open.ed.jp
URL www.morikawa-sh.open.ed.jp

県立北部病院 名護市大中 2-12-3 0980-52-2719	県立中部病院 うるま市宮里 281 098-973-4111	中　頭　病　院 沖縄市登川610 098-939-1300
国立大学法人 琉　大　病　院 西原町上原 207 098-895-3331	病院内訪問学級 設　置　病　院	那覇市立病院 那覇市古島 2-31-1 098-884-5111
こども医療センター 南風原町新川 118-1 098-888-0123	沖縄赤十字病院 那覇市与儀 1-3-1 098-853-3134	沖縄協同病院 那覇市古波蔵 4-10-55 098-853-1200

沖縄県立
森川特別支援学校

教育目標

病気や障害の状態及び発達段階に応じた適切な教育を施し、心身の調和的発達を促し、力強くたくましく生きる意志や態度を養い、病気や障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服し、自立し社会参加できる児童生徒を育成する。

本校の校訓

明るく元気で
ねばり強く
思いやりのある児童生徒

学校の特色

児童生徒一人一人の実態に応じて学習内容を精選し、学習方法・形態を工夫しています。また 、医療・福祉関係機関と連携し、児童生徒及び保護者をサポートします。

1 様々な実態の児童生徒に対応するため、教育課程が充実しています。
2 ＱＯＬの向上や学習環境を整えるため、積極的にＩＣＴを活用しています。
3 心身症や精神疾患等の通学生も受け入れています。
4 児童生徒の心理的ケア、保護者との連携にも力を入れています。

一人一人が病気や障害に負けず
健やかに成長できるように
教育を推進します
－ 教職員全員で支援します －

5 退院後、原籍校[*1]へスムーズに復帰できるように、原籍校が使用している教科書も用いて学習をします（病院内訪問学級）。
6 琉球大学病院と、こども医療センターにおいて、高校生を受け入れています。[*2]
7 感染対策を徹底しています（全職員 風疹、麻疹、おたふく、水疱瘡の抗体検査済み）。
8 スクールカウンセラーを活用しています。

病院内訪問学級

病気や怪我で長期入院した際に学習空白を一日でも少なくするための制度で、快復（退院）後は原籍校へ復帰することを前提に学習を進めています。病院内にある教室で、治療を受けながら教師による学校教育を受ける[*3]ことができます。

突然の入院に不安と戸惑いを抱いている児童生徒にとって、共に学ぶ仲間との関わりや原籍校と同じ学習に取り組む生活は、大きな安心感へとつながります。

・訪問学級での一週間の学習時間は２９時間程度で、治療日程や体調に合わせ柔軟に対応します。
・教室での学習を基本としますが、状況によっては、ベッドサイドでの学習にも対応します。
・ＩＣＴを活用し本校や原籍校、他病院内訪問学級との交流及び共同学習も行っています。また、運動会や文化祭等の行事にも病院から参加することも可能です。

入院が長期になりそうな際には、入院している病院の医師や看護師、または森川特別支援学校に直接ご相談ください。

教育相談

地域のセンター的役割を果たす特別支援学校として、教育相談や、情報提供等支援を行っています。

悩みや不安、お困りのことがございましたら、電話相談、来校相談など、お気軽にご連絡ください。

電話相談：月・火・木・金 15:00~17:00
来校相談：授業・校内見学 教育相談等
（事前に予約が必要です）
相談担当：特別支援教育コーディネーター

*1 入院して森川へ転入する前に通っていた、その児童生徒の本来の学校。
*2 教育課程の整合性の検討など、原籍高校と学校間の調整が必要となります。
*3 転学手続きを行う必要があります。